

ひまわり 8・9月号 令和5年8月28日

横浜市立飯島小学校

生きるよろこび

学ぶ楽しさ

のびのび 飯島っ子



地域行事に参加して

校長 河原 洋之

「猛烈な暑さ」

天気予報でこの言葉を聞かない日はなかった夏休み。国連の事務総長が「地球沸騰」という言葉で世界的な猛暑に対する危機感を訴えましたが、まさにその言葉がぴったり当てはまる8月だったように思います。

最近では夜になると秋の虫の声が聞こえてくるようになり、暑さの中にも季節の移ろいを少しだけ感じられるようになりました。

さて、この夏はコロナ禍3年間実施することが難しかったお祭りが全国各地で再開されました。飯島小学校の周りでも団地祭をはじめ、いろいろな地区でお祭り等が行われたようです。わたしもいくつかのお祭り等に参加させていただきました。

〈7月22日 団地祭〉

本校職員や地域交流室の皆さんと一緒に焼きそば販売を行いました。テントの中はものすごい暑さでしたが、皆さんと一緒に声をかけ合いながら焼きそばを焼いたり、容器に詰めたりすることがとても楽しく感じられました。また、飯島中学校の生徒さんがボランティアとして気持ちよく働いてくれたのも嬉しかったです。

子どもたちもたくさんお祭りに来ていて、わたしを見つけて「校長先生！」と声をかけてくれたり、手を振ってくれたりし、幸せな気持ちになりました。

飯島小5・6年生有志のソーラン節や職員有志のパフォーマンスもお祭りを盛り上げてくれました。

〈8月19日 飯島町内会ミニ盆踊り大会〉

盆踊りの合間に八木節を踊る時間があり、わたしも参加しました。7月の練習会にも参加させていたどき、そこで教わったことを思い出しながら踊りました。飯島会長の唄やダイナミックな太鼓の響きと一体となって踊ることに心地よさを味わいました。子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様と一緒に踊ることができたのも大変良かったです。

盆踊り後の打ち上げ花火もとても迫力があり、飯島の夜空を彩っていました。

これらのお祭り等に共通していえることは、企画・運営する町内会や自治会の方々の「地域の皆さん、とくに飯島の子どもたちに楽しんでもらいたい」という熱い思いです。子どもたちにはこの思いをしっかり受け止めてほしいと思っています。そして、ゆくゆくは飯島の地域行事の担い手になってくれることを期待しています。

今日から2学期が始まりました。夏休み中、家庭や地域で様々な経験をした子どもたちが元気に学校に戻ってきました。これからも保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら本校の教育活動を進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。